

宮澤 泰正・海洋研究開発機構・サブリーダー

田村 仁・海洋研究開発機構・特任研究員

堤 英輔・九州大学・大学院総合理工学府・大学院生

山田 和史・九州大学・大学院総合理工学府・大学院生

三城 希雄志・九州大学・大学院総合理工学府・大学院生

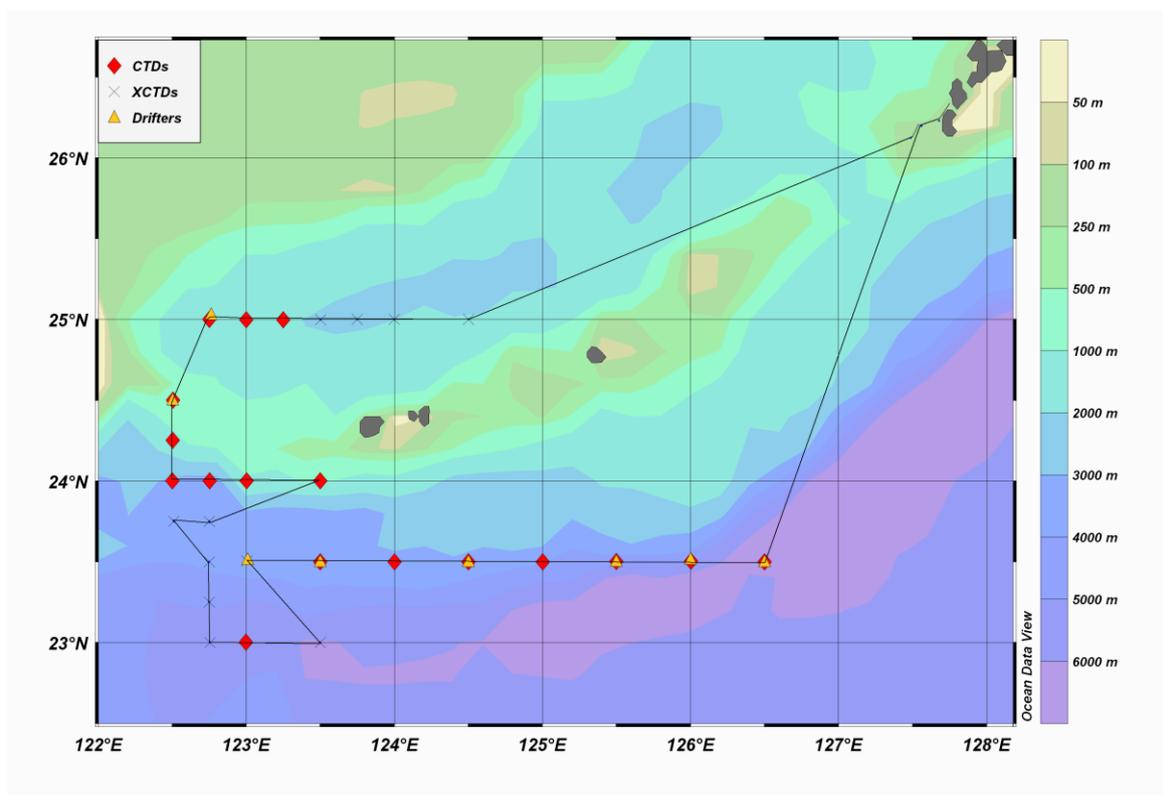
清松 啓司・東京大学・大学院新領域創成科学研究科・大学院生

因 和久・東京大学・大学院新領域創成科学研究科・大学院生

横川 真一郎・(株)マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員

柴田 冬樹・(株)マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員

* 航跡・測点図



*** (以上を教授会資料として使用し、海洋研ホームページにも掲載します。) ***

* その他

(1) 予定しながら実施できなかった調査項目およびその理由

海況が悪く出港が約2日遅れたため、一部の測点を省略した。

また、海況が悪いため、一部のCTD測点をXCTD観測に変更した。

(2) BATHY通報などのリアルタイム・データ通報を行った場合は、その実施状況なし

(3) 研究船、共同利用等に関する意見(問題点、要望、良かった点等)

計画の変更に対応してもらえ「小回りの良さ」はありがたい。が、逆に、荒天に弱いので計画の変更を余儀なくされているとも言える。

計画申請審査後の合い乗り研究者の乗船があったが、こういったスタイルは、共同利用研究船として有益であると思う。船表が決定した時点で、観測海域と主席研究者の連絡先などを広く公開すると、全国共同利用船に対する支持の拡大に有益だろう。

(4) その他

* 本航海で取得したすべてのデータ、及びサンプルに関する情報

1. CTD・採水データ, LADCP データ (LADCP: Lowered acoustic Doppler current profiler)

保管機関: 九州大学応用力学研究所 海洋渦動力学海洋大循環分野

管理責任者: 市川 香 (ichikawa@riam.kyushu-u.ac.jp)

データの公開: CTD・採水データは、航海終了後2~3年で公開する予定。LADCP データは、処理に時間がかかるので、当面保管機関で管理する。

測点名, 測定場所, 日時, 水深

I2,	23° 30.01' N	126° 30.03' E	2008/12/08	03:35~05:02	6329m
H2,	23° 30.24' N	126° 00.15' E	2008/12/08	07:49~09:01	6681m
G2,	23° 30.06' N	125° 29.94' E	2008/12/08	11:40~12:58	5000m
F2,	23° 30.00' N	125° 00.06' E	2008/12/08	15:24~16:40	4129m
E2,	23° 30.00' N	124° 03.00' E	2008/12/08	19:08~20:26	3000m
D2,	23° 30.05' N	124° 00.03' E	2008/12/08	23:14~00:23	2407m
G2,	23° 29.94' N	123° 29.94' E	2008/12/09	03:17~04:30	3608m
B1,	23° 00.12' N	122° 59.83' E	2008/12/09	15:01~16:29	3197m
C3,	24° 00.05' N	123° 29.97' E	2008/12/10	05:54~07:01	1298m
B3,	24° 00.11' N	123° 00.11' E	2008/12/10	09:40~10:33	1020m
ab3,	24° 00.12' N	122° 45.09' E	2008/12/10	11:49~13:02	3674m

A3,	24° 00.01' N	122° 30.01' E	2008/12/10	14:34~16:00	3632m
a3h,	24° 15.18' N	122° 30.11' E	2008/12/10	17:13~17:43	0723m
A4,	24° 30.09' N	122° 30.25' E	2008/12/10	18:57~19:34	0605m
ab5,	25° 00.11' N	122° 44.98' E	2008/12/10	22:13~23:18	1487m
B5,	24° 59.90' N	123° 00.00' E	2008/12/11	00:43~01:51	1630m
bc5,	24° 59.90' N	123° 14.99' E	2008/12/11	03:07~04:31	1939m

2. XCTD-2 データ

保管機関：九州大学応用力学研究所 海洋渦動力学海洋大循環分野

管理責任者：市川 香 (ichikawa@riam.kyushu-u.ac.jp)

データの公開：航海終了後2~3年で公開する予定。

測点名, 測定場所, 日時, 水深

B2,	23° 30.37' N	123° 00.26' E	2008/12/09	07:20	3094m
C1,	22° 59.97' N	123° 30.02' E	2008/12/09	12:04	6173m
ab1,	23° 00.00' N	122° 45.26' E	2008/12/09	17:58	3388m
ab1h,	23° 15.04' N	122° 44.95' E	2008/12/09	19:54	3048m
ab2,	23° 29.98' N	122° 45.01' E	2008/12/09	21:44	3385m
a2h,	23° 45.05' N	122° 30.61' E	2008/12/09	23:47	3070m
ab2h,	23° 45.00' N	122° 44.98' E	2008/12/10	01:21	3250m
C5,	24° 59.99' N	123° 30.04' E	2008/12/11	05:48	2125m
cd5,	25° 00.00' N	123° 44.95' E	2008/12/11	07:08	2033m
D5,	25° 00.00' N	123° 59.98' E	2008/12/11	08:29	1918m
E5,	25° 00.02' N	124° 30.02' E	2008/12/11	10:57	1935m

3. 船底設置 ADCP (RDI 社)

測定場所, 日時：全航跡上, 全航海期間

保管機関：九州大学応用力学研究所 海洋渦動力学海洋大循環分野

管理責任者：市川 香 (ichikawa@riam.kyushu-u.ac.jp)

データの公開：航海終了後2~3年で公開する予定。

4. 波高計測ブイデータ (ゼニライトブイ社)

保管機関：株式会社三菱総合研究所 (海洋研究開発機構)

管理責任者：木場正信 (koba@mri.co.jp)・宮澤泰正 (miyazawa@jamstec.go.jp)

データの公開：航海終了後1~2年で公開する予定。

ブイ番号, 投入場所, 日時, 水深

1,	24° 30.09' N	122° 30.25' E	2008/12/10	19:40	574m
2,	25° 01.80' N	122° 45.66' E	2008/12/10	23:28	1481m

5. 漂流ブイデータ (ゼニライトブイ社オーブコム通信タイプ)

保管機関：九州大学応用力学研究所 海洋渦動力学海洋大循環分野

管理責任者：市川 香 (ichikawa@riam.kyushu-u.ac.jp)

データの公開：ブイの通信途絶後1～2年で公開する予定。

ブイ番号, 投入場所, 日時, 水深

riamoed6,	23° 30.01' N	126° 30.03' E	2008/12/8	05:09	6329m
riamoed5,	23° 30.88' N	126° 00.01' E	2008/12/8	09:03	6681m
riamoed7	23° 30.06' N	125° 29.94' E	2008/12/8	12:58	5000m
riamoed8	23° 30.00' N	124° 30.00' E	2008/12/8	20:36	3000m

6. 漂流ブイデータ (ゼニライトブイ社イリジウム通信タイプ)

保管機関：海洋研究開発機構

管理責任者：宮澤泰正 (miyazawa@jamstec.go.jp)

データの公開：ブイの通信途絶後に公開予定。

ブイ番号, 投入場所, 日時, 水深

300034012541650	23° 30.00' N	123° 30.00' E	2008/12/9	04:40	2800m
300034012541490	23° 30.78' N	123° 00.58' E	2008/12/9	07:33	3157m

* 研究航海・観測の詳細や成果等について (記載するかどうかは自由, 様式も自由, 英文も可)

九大応力研の放流したオーブコム通信タイプの漂流ブイデータは, 下記のアドレスで位置情報を逐次図示公開している。

http://lpc2.riam.kyushu-u.ac.jp/endo/2008/buoy_OKT/buoy_now.htm